

令和6年2月29日（木）
福岡県ひきこもり対策連絡調整会議

福岡県ひきこもり地域支援センター の取組について

福岡県ひきこもり地域支援センター
(福岡県精神保健福祉センター)

令和5年度福岡県ひきこもり対策の概要

ひきこもりに関する悩みを抱える方や家族を関係機関と連携し継続的に支援するとともに、身近な市町村で相談や支援が受けられる体制を整備するために、様々な取組を行った。

1 ひきこもりの相談支援

電話、来所相談、オンライン、訪問・同行支援により、ひきこもり当事者やその家族、関係機関からの相談に対応し、適切な支援に繋げる。また、フリースペース(当事者の居場所)、家族のつどいを実施し本人・家族を継続的に支援する。

2 ひきこもり支援者の人材育成

ひきこもりの相談や訪問支援に対応できる人材の育成、地域において本人・家族への見守り・適切な支援に繋ぐことができる人材の育成のため、関係者向け研修会及び、ひきこもりサポーターフォローアップ研修を実施する。

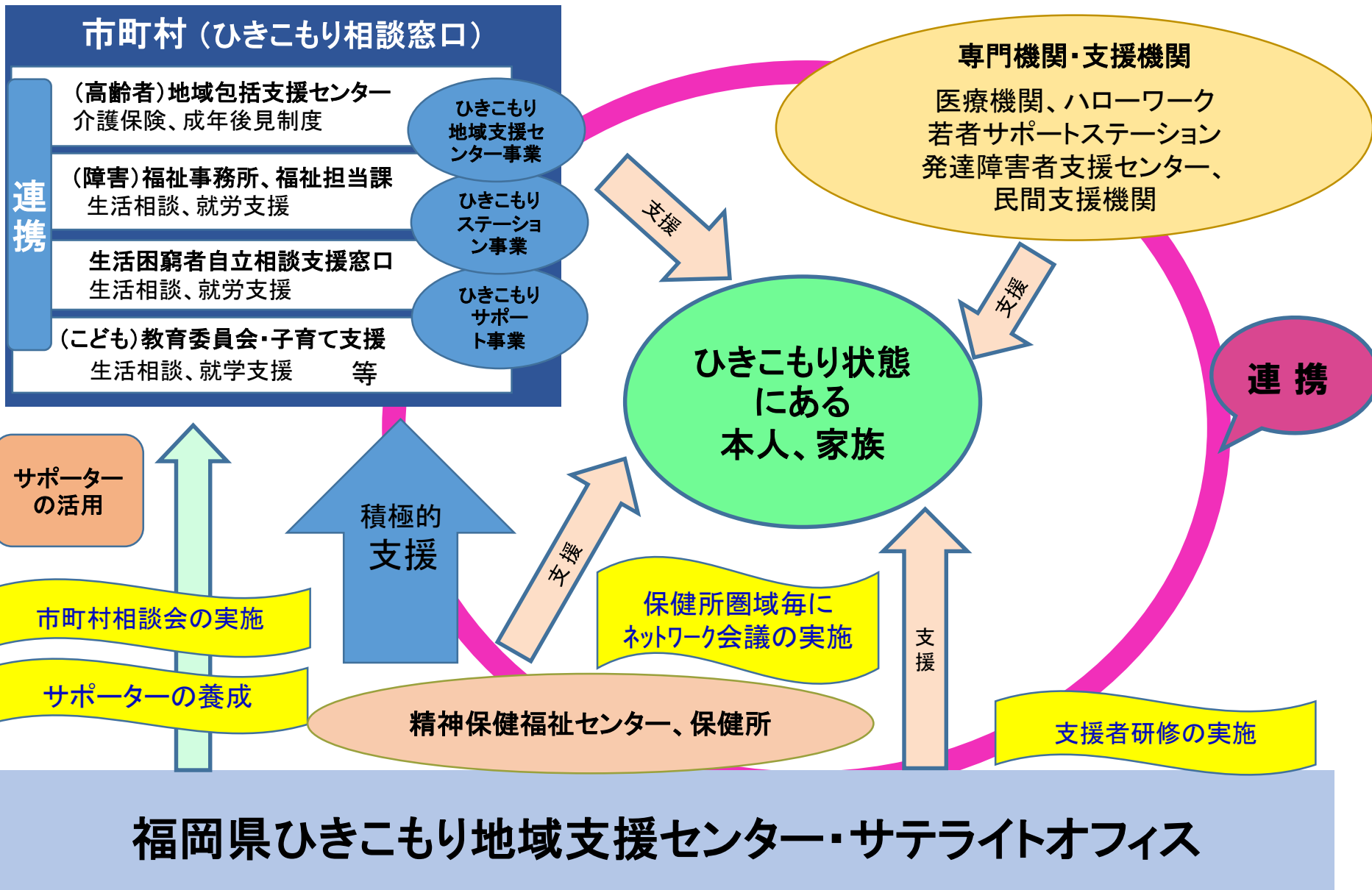
3 ひきこもり支援のネットワークの構築

関係機関の連携体制の構築・強化のため、ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議、ひきこもり地域支援センター実務者連絡会議、ひきこもり対策連絡調整会議を実施する。また、市町村ひきこもり相談会の実施拡大等により、市町村の相談体制構築促進への取組を進める。

4 ひきこもりに関する情報発信

ひきこもりへの理解を深め、必要な方へ支援を届けるため、リーフレット等の配布、HP掲載等の広報活動のほか、他機関が実施する会議・研修会等でひきこもりに関する講話を行い、ひきこもりに関する情報発信を実施する。また、市町村相談会を通して地域住民への啓発をする。

ひきこもり支援体制のネットワーク



1 ひきこもりの相談支援(1)～ひきこもり地域支援センターの体制～

【設置目的】

ひきこもり状態にある者及び家族等へ支援を行うとともに、市町村への専門的助言や関係機関の連携を図り、地域におけるひきこもり支援体制を構築するために設置

平成22年6月設置

＜福岡地域＞ ひきこもり地域支援センター
(春日市)

- ・ ひきこもり支援コーディネーター 3名
- ・ センター担当者 1名

連絡会議を毎月開催(情報交換や事例検討の実施)

令和2年7月1日設置

＜筑豊地域＞ 筑豊サテライトオフィス
(田川市)

- ・ ひきこもり支援コーディネーター 2名
- ・ センター担当者 1名(筑後、筑豊兼任)

令和2年7月1日設置

＜筑後地域＞ 筑後サテライトオフィス
(久留米市)

- ・ ひきこもり支援コーディネーター 3名
(※常勤換算2名)
- ・ センター担当者 1名(筑後、筑豊兼任)

両サテライトは社会福祉法人グリーンコープに委託

1 ひきこもりの相談支援(2) ~令和5年度相談状況(4月~12月)~

【令和5年度 月別相談延件数の推移】

500
400
300
200
100

■ センター ■ 筑豊サテライト ■ 筑後サテライト

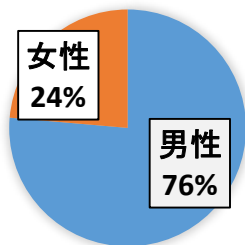
件数	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計											
	電話	オンライン	来所	訪問同行	電話	オンライン	来所	訪問同行	電話	オンライン	来所	訪問同行	電話	オンライン	来所	訪問同行	電話	オンライン	来所	訪問同行	電話	オンライン	来所	訪問同行	電話	オンライン	来所	訪問同行											
366	1	78	43	365	2	90	57	412	3	71	47	300	3	75	40	346	1	67	48	329	1	89	55	341	1	107	47	380	1	75	53	342	1	65	43	3,181	14	717	433

【令和5年度新規面談者状況】（令和5年度初めて来所又は訪問・同行支援を行った者（前年度からの継続者を除く））

<人数>

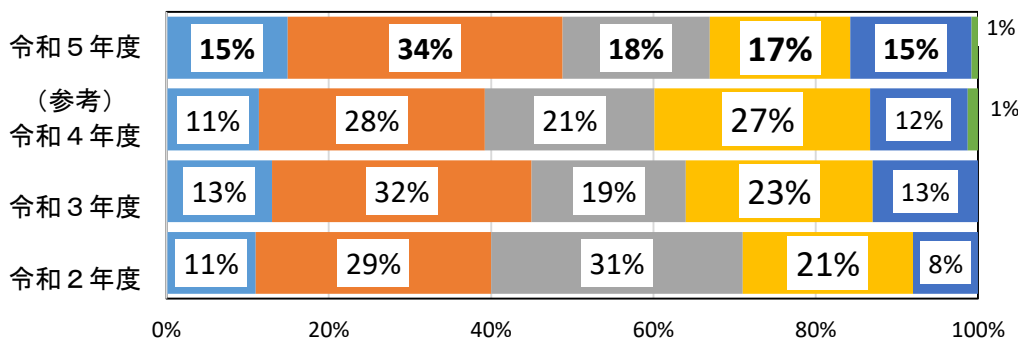
	人数(人)
令和5年度 (4月~12月)	127
参考 令和4年度	158
参考 令和3年度	166
参考 令和2年度	154

<性別>



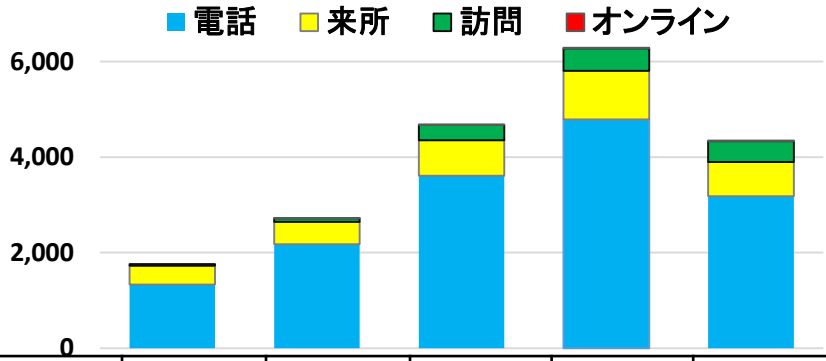
<年齢>

■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代以上 ■ 不明



1 ひきこもりの相談支援(3) ～相談件数の推移等～

【相談延件数の推移】



	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 (4~12月)
電話	1,329	2,175	3,607	4,788	3,181
来所	400	472	746	1,018	717
訪問	31	72	319	469	433
オンライン		2	8	16	14
合計	1,760	2,721	4,680	6,291	4,345
(再掲)訪問支援の割合	1.8%	2.6%	6.8%	7.5%	10.0%

○ 令和4年度の相談延件数はサテライトオフィス開設前の令和元年度に比べて3.6倍に増加。

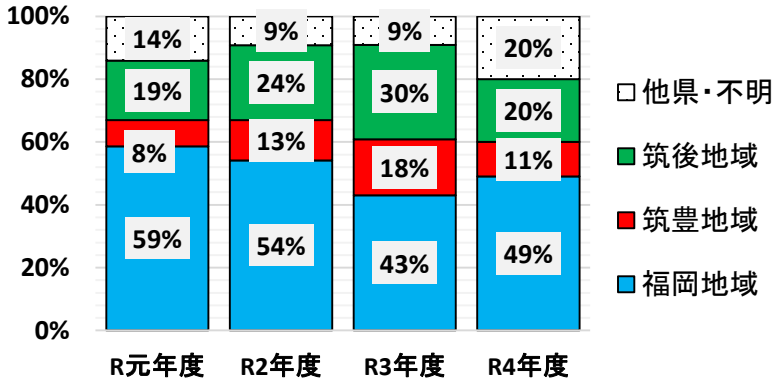
今年度の相談件数は12月末現在で、令和4年度の約7割である。

○ 相談延件数に占める訪問支援(訪問・同行支援)の件数は増え、令和元年は約2%であったが、今年度は10%に増えた。

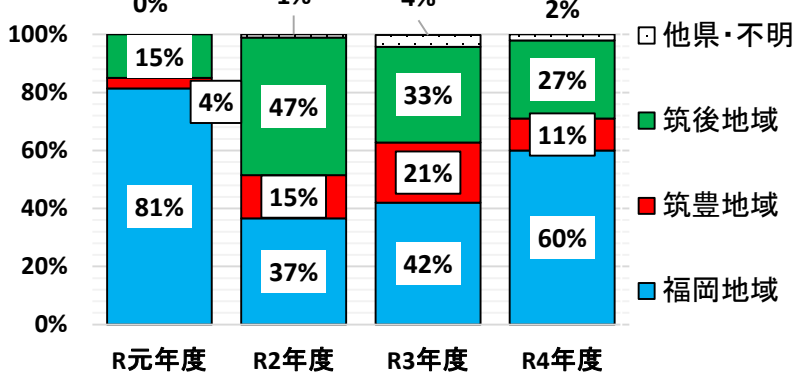
○ 相談者の居住地別割合は、令和元年度は福岡地区の割合が電話で約60%、来所で約80%であったが、サテライトオフィス設置後は筑豊、筑後地域の割合が増えた。

【相談延件数の居住地別割合(電話・来所)】

<電話>



<来所>



1 ひきこもりの相談支援(4) ~本人支援~

フリースペース (ねすと♪たまゆら)

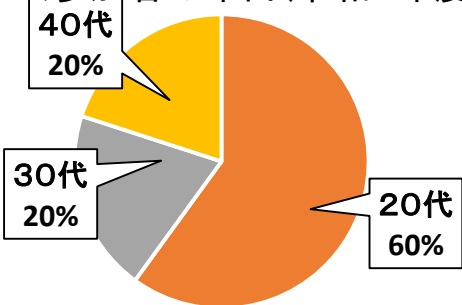
【目的】 ひきこもり状態にある本人を対象に、家庭以外に安心して過ごせる場を確保し、家族以外の人との関わりや様々な体験ができる機会とする。

【開催日程】 毎月第2、4火曜日 14:00~16:00

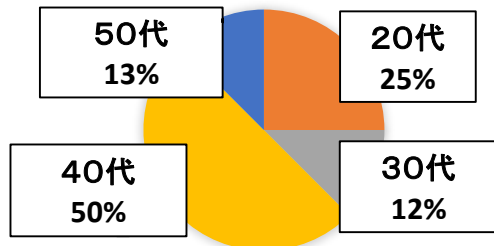
【実績】

	開催回数	参加人数(人)		
		実人数	延人数	平均参加人数
令和5年度 (R6.1月末現在)	20回	10	85	4.3
令和4年度	23回	8	72	3.1

<参加者の年代(令和5年度実人数)>



(参考) 令和4年度



【取組等】

<内容>

・プログラムは事前に周知し、具体的な内容については、参加者の状況に応じて工夫し、実施している。今年度は調理や製作、運動を多く取り入れた。
また、活動の合間に、ボランティア作業も取り入れ、新たな体験の機会を設けた。

<参加者>

・令和4年度の20代の参加者は全体の25%であったが、今年度は60%と増えている。
・今年度の参加者のうち、7割が新規参加者である。

<現状・今後の取組>

・新規参加者が増え、継続参加者と併せて、8月以降は毎回5~7名参加している。
・居場所を求めている者に情報が届くよう、ホームページ掲載、市町村、関係機関へチラシ配布するなど、様々な機会をとらえて事業を周知する。

1 ひきこもりの相談支援(5) ～家族支援～

家族のつどい

【目的】 家族がひきこもりに対する正しい知識を学ぶとともに、家族同士の分かち合いの場を提供する。

【開催日程】 月1回 第3木曜日 14:00～16:00

【内容・テーマ】 各回、前半を学びの時間、後半を家族同士の交流(フリートーク)の時間とした。

＜令和5年度学びの時間のテーマ＞

ひきこもりの基礎知識、医師講話、対応のヒント、家族の体験談、当事者からのメッセージ、社会資源の紹介(経済面の見通し、就労支援)、OSDよりそいネットワークとの共催講演会

【実績】

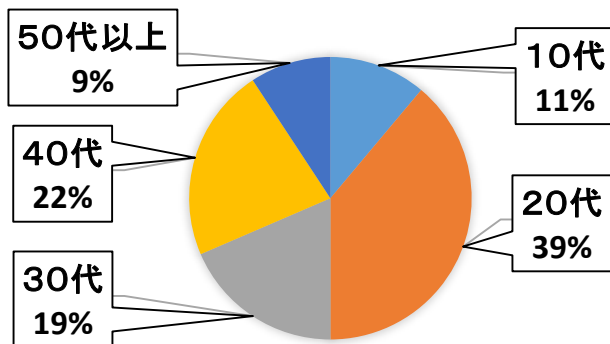
	開催回数	参加人数(人)		
		実人数	延人数	平均参加人数
令和5年度 (R6.1月末現在)	9回※	68	224	24.9
令和4年度	12回	85	254	21.2

取り上げて欲しいテーマについてアンケート等を取り、家族のニーズを内容に反映させた。

サテライトからはオンライン参加

※令和5年12月は降雪のため中止

＜参加家族の当事者の年齢割合(令和5年度実人数)＞



＜参加した家族の声＞

- ・「自分の正直な気持ちを話せた」
- ・「他の家族の話聞き本人への接し方のヒントを得た」
- ・「社会資源を学べた」
- ・「学んだことを実践したい」など

＜現状・今後の取組＞

- ・家族の学びの場になると同時に、家族同士で支え合い、力をつけ合う場になっている。
- ・今後も家族のニーズを取り入れ、家族支援の柱の一つとして、個人面談支援と合わせて取り組みたい。

1 ひきこもりの相談支援(6) ~本人・家族支援~

みんなのつどい

【目的】

ひきこもり状態にある本人とその家族が共に参加できるプログラムを実施することで、家族が本人にひきこもり地域支援センターのことを話題にしたり、本人の外出するきっかけや、本人が他の家族等と交流することで様々な対人関係の体験を得る機会とすることを目的に実施した。

【対象】

ひきこもり状態にある本人、家族

【日時・内容・実績】

日時	内容	参加者数(人)
令和5年12月7日 13時30分～15時	スローエアロビック 茶話会	4 (家族のみ)

<参加者の声>

「和気あいあいとした雰囲気良かった」、「体を動かした後だったので話が弾んだ」、「楽しく、すっきりとした気分になった」

<現状・今後の取組>

- ・家族のみの参加であったが、家族同士のつながりの場、リフレッシュする場になった。
- ・本人、家族が共に参加できるよう、プログラム内容について、ニーズ等を把握し今後の取組に生かしたい。

2 ひきこもり支援者の人材育成(1)～ひきこもり支援者研修会～

市町村をはじめとした支援機関等において、ひきこもりの相談や訪問支援に対応できる人材の育成・資質向上を目的に研修会を実施した。

【日時・実施方法】

令和5年7月4日 14時～16時 オンライン開催

【対象者】

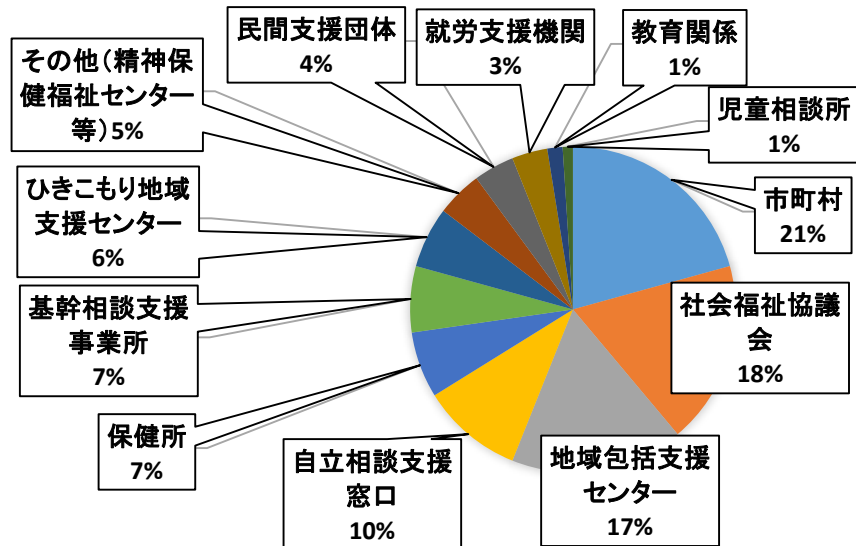
市町村、保健福祉(環境)事務所、福祉・労働・教育機関等のひきこもり支援従事者、県内のひきこもり民間支援団体等

【内容】

- ・演題 「地域で取り組むひきこもり支援
～支援者・家族にできること、支援で悩んだ時の対応を中心に～」
- ・講師 宮崎大学 教育学部 教授 境 泉洋 氏

【参加者数】 198名(申込者数から欠席の連絡があった者を除いた人数)

参加者所属内訳



・ひきこもり支援の基本的な心構えから、支援が進まなかったり、拒否があるなど、支援に悩んだ時の対応について講演いただいた。

＜参加者アンケート＞

- ・「とても参考になった」73%、「参考になった」27%
- ・「相談の対応方法や関わりの中で工夫することが具体的に分かった(市町村)」、「ひきこもり=悪い、ではない。相談を受ける側の意識や、本人・家族の困りごとに寄り添うこと、そのための信頼関係づくりについて学べた(社協)」、「相談を拒否しているなど支援に難しさを感じるケースへ支援者としてできること、工夫点が参考になった(自立相談支援機関)」など

2 ひきこもり支援者の人材育成(2) ～講演会など～

○一般社団法人OSDよりそいネットワークと共催で講演会を開催した。

【日時】 令和6年2月11日 10時～16時30分

【参加者】 159名 ひきこもり状態にある本人、家族、関係機関職員、民生委員など

【内容】 ・講演

「ひきこもりの多面的理解に基づく具体的支援
～逃げたい心の居場所づくりによる幸せなひきこもりライフ～」

九州大学大学院医学研究院 准教授 加藤隆弘 氏

・OSD専門家講演

「8050問題～今と親亡き後へ備える～」

「親亡き後に備えて～遺言の残し方を中心に～」

「今とこれからのお金の話～ひきこもり当事者と家族の生活設計～」

「障害年金は希望の光」

・パネルディスカッション「相談事例から、具体的に検討していきましょう」

○市町村、保健福祉環境事務所の新たに精神保健業務に携わる職員を対象とした「行政職員精神保健福祉業務基礎研修会」でひきこもり支援に関する研修を行った。

【日時】 令和5年5月11日 9時30分～16時15分(うちひきこもり支援:40分)

【参加者】市町村、保健福祉(環境)事務所職員 73名

【内容】 ひきこもり支援施策、ひきこもり地域支援センター、回復過程と支援、相談時の対応

2 ひきこもり支援者の人材育成(3) ～サポーターフォローアップ研修～

平成28年からひきこもりサポーター養成研修を実施し、令和4年度末に、福岡県ひきこもりサポーター登録者が53名となった。しかし、福岡県におけるひきこもりサポーターの派遣実績はない状況が続いている。このことから、今年度はサポーターフォローアップ研修のみ集合形式で開催し、登録者が実践的な内容を学ぶと共に、サポーター登録者同士が情報交換する機会とした。

【日時】令和5年11月29日 13時30分～16時30分

【対象者】 福岡県ひきこもりサポーター登録者53名

【参加者】 19名

【受講者の感想】

- ・事例報告で、実際の事例や支援の具体的な流れを知ることができ、大変参考になった。今後も定期的開催して欲しい。
- ・ひきこもっている方には、それぞれの事情があり、必要としている支援やニーズも様々であると分かった。今後、サポーターとして活動する時のために、今回のような研修会や勉強会に参加していきたい。
- ・ひきこもりと精神疾患の関連はきちんと理解しておくことが大事だと思った。
- ・自分がこれから、どのようなサポートをできるだろうか、と考えるきっかけになった。

【現状・今後の取組】

サポーターとしての活動の機会がないため、サポーター登録者の研修、情報交換の場として開催した。今後はひきこもりサポーターとして活動した者の活動報告も含めた意見交換や情報交換ができることを目指したい。そのために、市町村への事業の周知を強化するとともに、活用を推進していく。

<研修プログラム>

福岡県におけるひきこもりサポーター事業の取組について
福岡県ひきこもり支援センターの相談状況について
福岡県精神保健福祉センター医師講話 「ひきこもりと精神疾患(仮題)」
事例報告(センター、サテライトオフィスの支援事例) 質疑応答
居場所や支援機関等社会資源の紹介
まとめ

3 ひきこもり支援のネットワークの構築(1)

～ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議～①

市町村をはじめとした地域の関係機関のネットワークの充実及び関係機関職員の資質向上を目的に、保健所圏域ごとに、ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議を開催した。

また、当会議は本県において「就職氷河期世代の地域のプラットフォーム」(※1)と位置付けており、住民に身近な市町村でひきこもり相談を着実に受け止め、支援者間のネットワークを活用し、市町村プラットフォームの設置が促進されることを目指している。

(※1)現在30代半ばから40代半ばの雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代は、無業や不安定な就職形態にあるなど様々な問題に直面しており、社会参加に向けて支援が必要なひきこもり者も対象とされている。令和元年6月、国はこの世代への支援策を打ち出し、取組のひとつとして市町村レベルのプラットフォームを整備することとしている。

【対象者】

市町村、自立相談支援機関、社会福祉協議会、基幹相談支援センター、地域包括支援センター、若者サポートステーション、発達障がい者支援センター、保健福祉(環境)事務所等においてひきこもり支援に関わる職員

【実施方法・場所】 県域の9保健所圏域ごとに集合形式で実施

【実施時期・時間】 令和5年10月～12月 14時～16時30分

【内容】

- ①説明:本県のひきこもり支援対策 (こころの健康づくり推進室)
ひきこもり支援に係る地域の状況 (精神保健福祉センター)
- ②事例提供・意見交換:「多機関で連携している事例」をもとにグループワーク
本人・家族への支援、関係機関が連携する上での工夫など

- ・事例提供・意見交換のファシリテーター、事例提供者は各地域から選出
- ・会議開催に当たり、保健所と担当者会議を実施するなど、各地域の保健所と共に取り組んだ。(事例提供者は各保健所が選定)

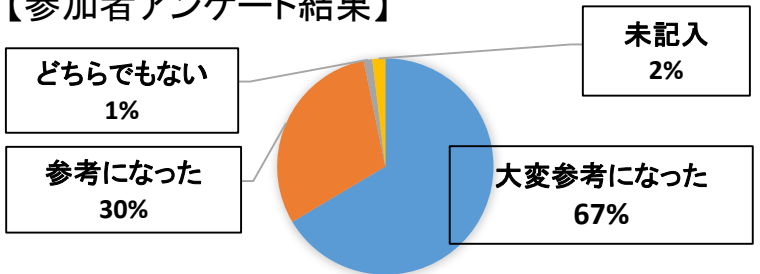
3 ひきこもり支援のネットワークの構築(2)

～ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議～②

【参加者数】

9保健所 圏域会 議合計	参加数(人) (9保健所圏域会議合計)										
	参加者所属内訳										
	市町村	自立相談 支援機関	地域包括 支援セン ター	社会福祉 協議会	障がい相 談支援機 関	就労支援 機関	民間支援 機関	保健所	ひきこもり 地域支援 センター・ サテライト	その他	
184人 (平均21人)	43	17	19	22	16	7	2	34	13	11	
	23%	9%	10%	12%	9%	4%	1%	19%	7%	6%	

【参加者アンケート結果】



＜参加者の声＞

- ・「地域の多機関と意見交換できたのが有意義だった。事例検討を通じたグループワークを継続して欲しい。」
(市町村、社協、自立相談支、地域包括、就労支援、保健所)
- ・「困った時に協力し合える機関が地域にあることが分かり心強い」(就労支援)
- ・「地域の関係機関の情報が分かって良かった」(地域包括)
- ・「経験が少なかったが事例検討が学びになった」(市町村)など

＜精神保健福祉センターに求めること＞ (複数回答可)

項目	計	割合
1 事例対応への助言	108	70%
2 同伴面接・訪問	78	50%
3 ネットワーク構築に向けた取組	68	44%
4 研修会の開催	58	37%
5 家族同士の集まる場	54	35%
6 本人の居場所	51	33%
7 地域支援会議への参加	46	30%
8 その他	2	1%

＜現状・今後の取組＞

- ・保健所と共に取り組むことで、市町村等、地域の関係機関のひきこもり支援への取組状況や地域の相談の核となる人材等の把握ができ、地域に即したネットワーク構築促進への取組ができた。
- ・事例を基にグループワークを行うことで、支援者の資質向上への取組にもなった。
- ・今後も保健所と共に地域に即したネットワークの構築促進に取り組みたい。

3 ひきこもり支援のネットワークの構築(3) ~市町村相談会~

市町村でのひきこもり相談会の実施

ひきこもりに関する悩みを抱える方がより身近な場所で相談できるよう、令和3年度から住民に身近な市町村に出向いてのひきこもり相談会を実施している。今年度は令和4年度に実施した2市町に加え、県内（両政令市を除く）58市町村に意向調査を行い、ひきこもり相談会の開催を希望した10市町の計12市町で実施した。

市町の広報紙により相談会を広く住民に周知することで、潜在するひきこもり者や家族に相談窓口の情報を届ける機会とするとともに、市町村での相談支援体制の整備につながることを目的としている。

【日時】 1日3組の予約制 ①10:00～ ②13:00～ ③15:00～

開催年度	センター 管内 (実施日・《相談件数》)	筑後サテライト 管内 (実施日・《相談件数》)	筑豊サテライト 管内 (実施日・《相談件数》)
令和3、4年	—	小郡市	宮若市
令和4、5年	—	柳川市(9/25《2件》、 R6.2/2《3件》)	みやこ町(8/31《1件》、 R6.2/28《予定》)
令和5年	太宰府市(11/7・《4件》)	筑前町(11/7・《1件》)	飯塚市(12/13・《5件》)
	遠賀町(12/15・《2件》)	大川市(12/18・《4件》)	桂川町(12/20・《2件》)
	新宮町(1/17・《1件》)	朝倉市(2/21《予定》)	
	須恵町(2/13・《予定》)	大木町(3/5《予定》)	

【取組み】

R6.2.12 現在

- 相談会の開催について市町の広報紙への掲載やSNSの活用、関係窓口にチラシを配架する等して周知を行った。
- 相談当日は、庁内に案内を掲示し、関係部署に再度の周知を行った。
- 予約がない場合は、関係部署と継続支援中のケースの情報共有等を行い、ケース協議の機会とした。
- 定期的に相談会を行うことで、市町村の職員等にひきこもり支援への意識が浸透する機会となった。
- 市町村が独自で相談会を実施する際、協力の依頼があれば応じることにした。

今年度は小郡市が独自で相談会の開催を計画し、当センターに協力依頼があったため対応した。

3 ひきこもり支援のネットワークの構築(4)～市町村との連携～

- 筑豊、筑後サテライトオフィスの設置を契機に、関係機関への訪問、ケース連絡を行うことが増えた。また、市町村等のひきこもりに関する協議の場へ参加した。

【市町村等主催の会議への参加】

	会議名(開催月)
1	久留米市こども分科会(5、7、11月)
2	久留米市若者の居場所等を考える会(5月)
3	八女市アウトリーチサポートチーム会議(5、8、11、2月)
4	柳川市自殺対策地域ネットワーク会議(10、12、1月)
5	田川地区障がい者自立支援協議会相談支援部会(4月～2月 計9回)
6	嘉麻市ひきこもり支援者意見交換会(5月、9月、2月)

3 ひきこもり支援のネットワークの構築(5)

～実務者連絡会の実施等～

ひきこもり地域支援センター実務者連絡会

北九州市、福岡市及び県のひきこもり地域支援センターの実務者で連絡会を開催し、県内の各センターの取組や課題について意見交換を行い、情報共有を行った。

日時	令和5年6月7日 14時～16時
場所	福岡市思春期ひきこもり地域支援センター ワンド
参加者	県内のひきこもり地域支援センター、精神保健福祉センター等 9機関 16名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各ひきこもり地域支援センターにおける令和4年度取組状況及び課題について(報告) ・各ひきこもり地域支援センター等の相談支援の取組について(情報交換) <p>情報交換テーマ: 個別支援、年齢が高い方への支援、アウトリーチ、居場所活動、就労・経済支援、医療との連携 など</p>

関係機関の会議への出席

他機関が実施する会議に出席し、各機関の役割、課題等を情報共有し、地域の関係者との連携を図った。

	会議名
1	若者自立支援機関連携会議(全体会議、豊前・築上、宗像、筑豊、行橋みやこ、筑後地域会議)
2	福岡県子ども・若者支援地域協議会(代表者会議、実務者連絡会議)
3	社会的ひきこもりに関する連携支援研修会
4	北九州市ひきこもり支援実務者連絡会
5	メタバース活用長期無業者就労支援事業委員会
6	福岡県WORK! DIVERSITY事業シンポジウム
7	一社)生活困窮者自立支援全国ネットワーク総会・研修
8	福岡市あいあい青年期発達障がい者支援連携会議
9	法テラスワンストップ相談会会議・相談会
10	一社)コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会全国大会(実行委員会・大会)

4 ひきこもりに関する情報発信

ひきこもりに関する情報発信を行い、地域住民や関係機関等への情報発信を行った。

- 「福岡県ひきこもり地域支援センター事業報告書(令和4年度)」作成、ホームページ掲載
周知先: 行政機関(関係各課、市町村、保健所)、医療関係団体(精神科病院協会、診療所協会等)、
社会福祉協議会、自立相談支援事業所、関係機関(就労支援、若者支援、民間支援団体等)
- 各事業のホームページ掲載及びチラシ作成、配布
 - ・ホームページに各事業の内容を随時掲載するとともに、市町村や出前講座等でチラシを配布。
 - ・保健所圏域毎に実施しているひきこもり支援者等地域ネットワーク会議で、チラシを配布し関係機関を通じて地域住民等への広報を行った。
- 他機関からの依頼に応じて、ひきこもりやひきこもり地域支援センター役割等についての講話を実施し、普及啓発を行った。

	日程	会議名	参加者数(人)
1	令和5年8月2日	福岡県障がい児療育支援事業受託施設連絡協議会 相談支援部会	32
2	令和5年9月19日	筑紫野市山家地区民生委員児童委員協議会	10
3	令和5年12月12日	篠栗町民生委員児童委員協議会	45
4	令和5年12月16日	北九州市若者サポートステーション「第5回家族セミナー」	15
5	令和6年1月26日	糸島市社会福祉協議会「笑顔の集い」	13
	計		115

○市町村相談会実施の市町において、市町広報やチラシ、SNS等により住民にひきこもりに関する啓発を行った。